

OTC薬・健康食品等購入時におけるお薬手帳利用を目指した患者教育

診療報酬において医療機関間で薬剤情報を共有する手段としてお薬手帳が評価され、お薬手帳による医療用医薬品の情報管理が積極的に行われています。一方、セルフメディケーションの推進により OTC 薬や健康食品等を使用する機会が多くなってきていますが、お薬手帳による OTC 薬や健康食品等の情報管理はほとんど進んでいません。お薬手帳による OTC 薬や健康食品等の情報管理は重要かつ有用であるにも関わらず、実際には行われていないことから、その推進によるセルフメディケーションの適正化が急務となっています。

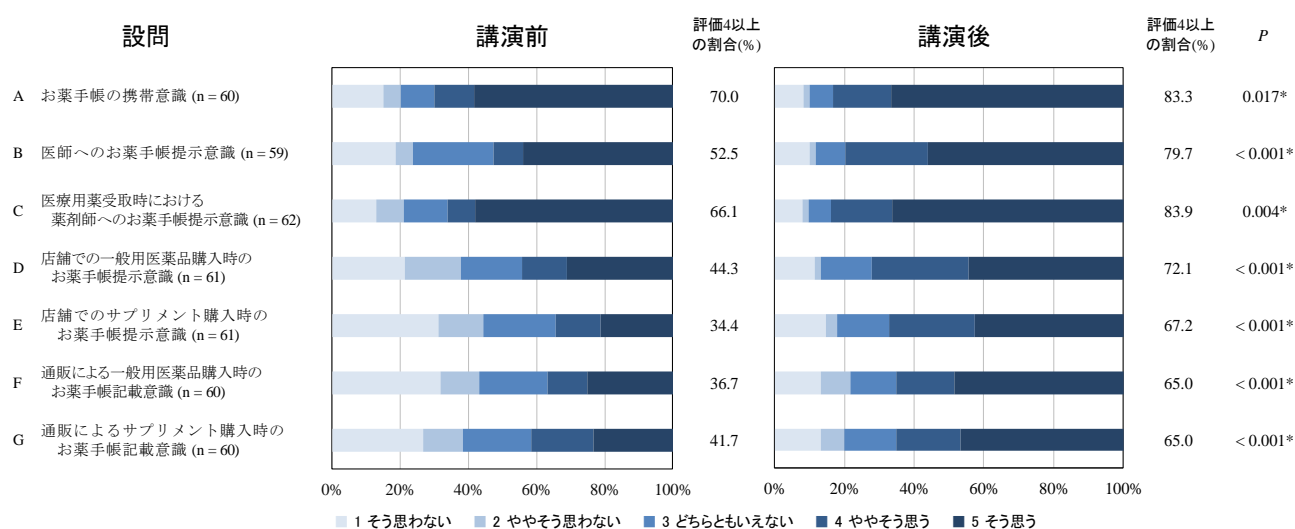
本研究では、OTC 薬や健康食品等購入時におけるお薬手帳の利用意識向上を目指した集団指導の効果を明らかにするために、お薬手帳の利用に関する講演を実施し、講演前後でお薬手帳の利用意識に関する調査を行いました。また、OTC 薬や健康食品等購入時におけるお薬手帳利用を目指した退院時患者教育の効果を明らかにするために、ランダム化比較試験を適用し入院患者の退院時に介入群と対照群に割り付けを行い、退院前と退院後に OTC 薬・健康食品等購入時におけるお薬手帳の利用状況を比較しました。

<お薬手帳の利用意識向上を目指した集団指導の効果>

医療用医薬品、OTC 薬および健康食品等におけるお薬手帳の利用意識に関する講演前後の結果を図 4 に示します。設問 A、B および C では、評価 4 以上の割合はそれぞれ 70.0%、52.5%、66.1% であり、講演前から 50% を超えていた。一方、設問 D、E、F および G では、それぞれ 44.3%、34.4%、36.7%、41.7% であり、講演前は 50% 以下でした。また、設問 A から G の評価は講演前後で有意に上昇しました。

市民公開講座を利用した集団指導はお薬手帳の利用意識の向上に寄与したことが示唆されます。

図 1 医療用医薬品、OTC 薬および健康食品等におけるお薬手帳の利用意識



＜お薬手帳利用を目指した退院時患者教育の効果ーランダム化比較試験ー＞

岐阜市民病院眼科に入院中で 20 歳以上の患者を、教育を行う介入群と行わない対照群にランダム割り付けし、退院指導前と退院 2 ヶ月後にアンケート調査を行いました。教育内容は、OTC 薬・健康食品等購入時のお薬手帳利用の重要性の説明と利用の勧奨としました。退院指導前における解析対象患者 39 人の背景およびアンケート結果を表 1 に示します。介入群と対照群の間で、退院指導前のすべての項目で有意な差は認められませんでした。

表 1 退院指導前における患者の背景およびアンケート結果

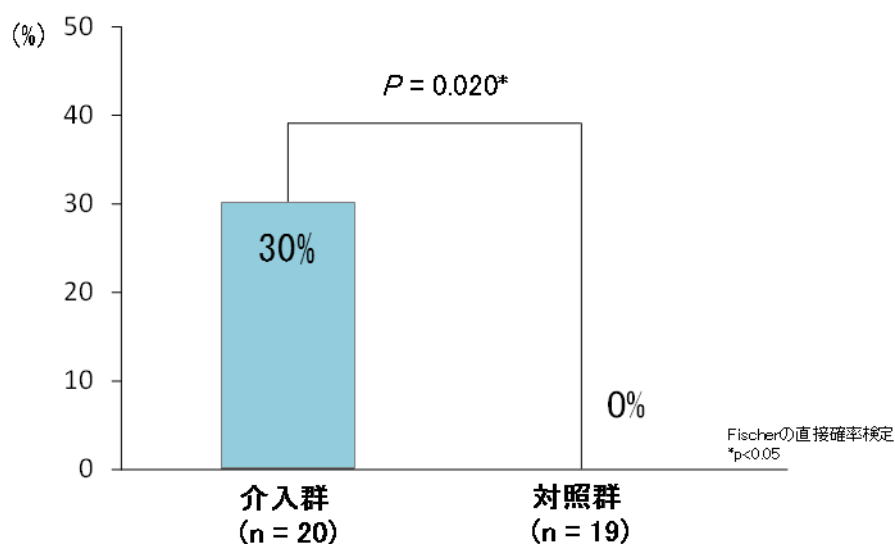
	退院指導前			P
	全体(n=39)	介入群(n=20)	対照群(n=19)	
年齢(歳、平均値±標準偏差)	71.5±9.3	70.5±10.3	72.5±8.3	0.493
性別(男女)	21/18	13/7	8/11	0.205
質問				
①あなたはお薬手帳を持っていますか？				0.342
持っていない	5(12.8%)	4(20.0%)	1(5.3%)	
持っている	34(87.2%)	16(80.0%)	18(94.7%)	
②お薬手帳の携帯状況はいかがですか？				0.341
いつも携帯しない	8(23.5%)	3(18.8%)	5(27.8%)	
必要なときだけ携帯している	19(55.9%)	11(68.8%)	8(44.4%)	
常に携帯している	7(20.6%)	2(12.5%)	5(27.8%)	
③過去2ヶ月間、病院・診療所を受診しましたか？				1.000
受診していない	1(2.6%)	1(5.0%)	0(0%)	
受診した	38(97.4%)	19(95.0%)	19(100%)	
④そのとき、お薬手帳を見せましたか？				1.000
見せていない	21(55.3%)	10(52.6%)	11(57.9%)	
見せた	17(44.7%)	9(47.4%)	8(42.1%)	
⑤過去2ヶ月間、調剤薬局で処方せんにて医療用医薬品を受け取りましたか？				1.000
受け取っていない	1(2.6%)	1(5.0%)	0(0%)	
受け取った	38(97.4%)	19(95.0%)	19(100%)	
⑥そのとき、お薬手帳を見せましたか？				0.746
見せていない	18(47.4%)	8(42.1%)	10(52.6%)	
見せた	20(52.6%)	11(57.9%)	9(47.4%)	
⑦あなたは一般用医薬品を使いますか？				0.677
全く使わない	8(20.5%)	3(15.0%)	5(26.3%)	
あまり使わない	6(15.4%)	3(15.0%)	3(15.8%)	
ときどき使う	21(53.8%)	11(55.0%)	10(52.6%)	
よく使う	4(10.3%)	3(15.0%)	1(5.3%)	
⑧あなたは一般用医薬品(あなたが使うもの)をどこで購入しますか？【複数回答可】				
処方せんを扱う薬局(調剤薬局)	7(22.6%)	3(17.6%)	4(28.6%)	
処方せんを取り扱わない薬局・ドラッグストア・薬店	26(83.9%)	16(94.1%)	10(71.4%)	
インターネット・通販	0(0%)	0(0%)	0(0%)	
その他	2(6.5%)	1(5.9%)	1(7.1%)	
⑨過去2ヶ月間、薬局・ドラッグストア・薬店で一般用医薬品(あなたが使うもの)を購入しましたか？				0.304
購入していない	4(12.9%)	1(5.9%)	3(21.4%)	
購入した	27(87.1%)	16(94.1%)	11(78.6%)	
⑩そのとき、お薬手帳を見せましたか？				1.000
見せていない	27(100%)	16(100%)	11(100%)	
見せた	0(0%)	0(0%)	0(0%)	
⑪そのとき、お薬手帳に購入した一般用医薬品について記載してもらいましたか？				
記載してもらっていない	-	-	-	
記載してもらった	-	-	-	
⑫過去2ヶ月間、インターネットや通販で一般用医薬品(あなたが使うもの)を購入しましたか？				1.000
購入していない	31(100%)	17(100%)	14(100%)	
購入した	0(0%)	0(0%)	0(0%)	
⑬そのとき、お薬手帳に一般用医薬品の名前を記載しましたか？				
記載していない	-	-	-	
記載した	-	-	-	
⑭あなたは健康食品・サプリメントを使いますか？				0.051
全く使わない	11(28.2%)	6(30.0%)	5(26.3%)	
あまり使わない	4(10.3%)	1(5.0%)	3(15.8%)	
ときどき使う	8(20.5%)	2(10.0%)	7(36.8%)	
よく使う	16(41.0%)	12(60.0%)	4(21.1%)	
⑮あなたは健康食品・サプリメント(あなたが使うもの)をどこで購入しますか？【複数回答可】				
処方せんを扱う薬局(調剤薬局)	3(10.7%)	1(6.7%)	2(14.3%)	
処方せんを取り扱わない薬局・ドラッグストア・薬店	14(50.0%)	7(46.7%)	7(50.0%)	
インターネット・通販	15(53.6%)	9(60.0%)	6(42.9%)	
その他	4(14.3%)	1(6.7%)	3(21.4%)	
⑯過去2ヶ月間、薬局・ドラッグストア・薬店で健康食品・サプリメント(あなたが使うもの)を購入しましたか？				1.000
購入していない	13(46.4%)	6(42.9%)	7(50.0%)	
購入した	15(53.6%)	8(57.1%)	7(50.0%)	
⑰そのとき、お薬手帳を見せましたか？				1.000
見せていない	15(100%)	8(100%)	7(100%)	
見せた	0(0%)	0(0%)	0(0%)	
⑱そのとき、お薬手帳に購入した健康食品・サプリメントについて記載してもらいましたか？				
記載してもらっていない	-	-	-	
記載してもらった	-	-	-	
⑲過去2ヶ月間、インターネットや通販で健康食品・サプリメント(あなたが使うもの)を購入しましたか？				0.450
購入していない	13(46.4%)	5(35.7%)	8(57.1%)	
購入した	15(53.6%)	9(64.3%)	6(42.9%)	
⑳そのとき、お薬手帳に健康食品・サプリメントの名前を記載しましたか？				1.000
記載していない	15(100%)	9(100%)	6(100%)	
記載した	0(0%)	0(0%)	0(0%)	

年齢には対応のないχ²検定を、質問②⑦⑩⑬にはχ²検定を、それ以外の質問にはFisherの直接確率検定を用いた。

退院2ヶ月後における解析対象患者39人のお薬手帳の提示あるいは記載に関する質問(⑩⑪⑬⑰⑱⑳)の回答結果から算出された「退院指導前から退院指導後にOTC薬あるいは健康食品等の購入時にお薬手帳を提示するかお薬手帳に記載するようになった患者の割合」を図2に示します。介入群で30.0%(6/20)、対照群で0%(0/19)であり、有意な差が認められました($P=0.020$)。

「退院指導前から退院指導後にOTC薬あるいは健康食品等の購入時にお薬手帳を提示するかお薬手帳に記載するようになった患者の割合」は介入群で有意に高かったことから、本教育により患者はOTC薬や健康食品等の購入時にお薬手帳を自発的に利用するようになったことが明らかになりました。

図2 退院指導前から退院指導後にOTC薬あるいは健康食品等の購入時にお薬手帳を提示するかお薬手帳に記載するようになった患者の割合(ランダム化比較試験のアウトカム)



薬剤師は、これらの教育手法を用いてOTC薬や健康食品等の購入時にもお薬手帳を利用するよう啓発し、セルフメディケーションの適正化を行っていく必要があります。

【発表論文】

舘知也, 浅野祥子, 後藤千寿, 吉田達彦, 臼井一将, 加藤未紗, 横井貴文, 野口義紘, 田中和秀, 安田昌宏, 水井貴詞, 寺町ひとみ, 一般用医薬品およびサプリメントの購入時におけるお薬手帳の利用意識向上を目指した集団指導の効果, 医療薬学, 41, 113-120, 2015.

舘知也, 田中和秀, 浅野祥子, 横井貴文, 臼井一将, 加藤未紗, 野口義紘, 大澤友裕, 市橋厚司, 安田昌宏, 水井貴詞, 後藤千寿, 寺町ひとみ, OTC薬・健康食品等購入時におけるお薬手帳利用を目指した退院時患者教育の効果ーランダム化比較試験ー, 医療薬学, 40, 632-642, 2014.